



《 教育と学費を考える集い 》

毎年、恒例となっている「2015 年度 教育と学費を考える集い」が 2 月 20 日（土）11：30 より大会議室にて開催されました。この集いは保護者と学校が子ども達の教育や学費のことについて共に考え、よりよい学校づくりのために話し合う貴重な機会となっています。今年度は教員を含め 39 名の参加がありました。

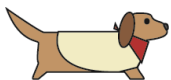
学校より事前に配布された「立命館中学校・高等学校 2015 年度の教育の現状と課題」に基づいて中学ならびに高校の様子、学校としての方向性、財政と学費についても説明をいただきました。事前に行ったアンケート結果の報告と皆様からの意見が比較的多かった「授業について」「進学・カリキュラムについて」「保護者との連絡・連携について」などの質問について校長先生から回答をいただき、参加の保護者からの個別の質問にも答えていただき、有意義な意見交換ができました。

保護者のみなさまからは、例年より多い 381 通のご回答をいただきました。また、アンケートに記述いただいた貴重な意見は、そのまま校長先生に届けています。



ひとこと感想

- 今回参加させて頂き、“授業第一の校風”を掲げているとの事でしたが、教科によってバラつきがあると感じました。
- 初めて参加させて頂きました。みなさんの質問にもていねいに説明していただき内容も理解しやすく、参加して良かったです。
- 会計報告も含め、学校側との会談の場が毎年設けてもらえることに学校側の誠意を感じます。
- 話の内容が具体性に欠けます。「～すべきだと考えています」の発言が多い。
- 補講について、クラブに遅刻すること等の連絡についても教員間の連携をより高めていただきたい。また病欠時のフォローが無いように感じます。公立の学校でも教育の進化・充実がどんどん図られている中、私学で求められるハードルは高いと思います。先生方、生徒、保護者の自覚が必要だと感じました。



このような会をもてるということは、立命館ならではのとても良い慣習だと思います。今後も引き続き行いたいと思いますので、ご参加・ご協力をお願いします。

アンケート結果などの報告を今年度の P T A 報告集「よりよき明日をめざして」に掲載いたしますのでご覧ください。アンケートへのご協力ありがとうございました。

